

女子3キロ 金津

(旭東明) V

男子5キロは和久(和寒)

クラシカル

スキー

■全道中学大会(11日・
名寄市)なよろ健康の森コー
ス 距離は男女クラシカ

ルを行い、男子5キロは和久
玄(和寒)が15分53秒0で
優勝した。女子3キロは金津
美和菜(旭東明)が10分31

秒2で制した。
●距離
▽男子5キロクラシカル ①和久
玄(和寒) 15分53秒0 ②今関(喜
茂別) 16分15秒2 ③藤沢(喜茂別)

大きく伸びる走りに力強さ 金津

女子の金津は念願の初優勝を飾った。「今までの練習の成果を発揮できてすごくうれしい」と笑顔で話した。

「落ちついて自分の走り方で

きるように」と集中して臨んだ。前半の上りを終えた直後の平地では、スピードを意識。そのまま勢いをつけて下りに入るとぐんぐん加速し、ゴールまで駆け抜けた。

大きく伸びるような走りを持ち味。3年生となって走り方も見直し、足の力と上半身の動き

のタイミングを合わせることで力強さが増した。練習では速い選手の後ろに必死に食らいついて歩幅や動きを合わせることで、スピードを磨いてきた。

スキー経験者の父母から送迎や食事のサポートのほか、滑り方などの指導を直接受ける。

「(家族が)いつも支えになってくれる。頑張って成績を残し、感謝を伝えたい」。恩返し気持ちは胸に、3度目の出場となる全国大会では、これまで届かなかった入賞を目指す。(川崎博之)



女子3キロクラシカルで優勝した旭東明の金津美和菜(熊谷洗太撮影)



▼和久、親子2代の表彰台に笑顔 男子の和久Ⅱ写真Ⅱは2位に2秒の大差をつけて優勝。父の誉さん(喜茂別)も1993年度の同大会(距離)を制しており、「父と表彰台の」同じところに立ってみたかった。うれしいと充実感をにじませた。

起伏があり、体力や滑りのテクニックが要求されるコース。序盤は焦ることなくペースを保ち、後半から徐々にスピードを上げた。得意な下りで勝負をかけ、「(練習通りに)うまく滑れた」と振り返った。全国の舞台を見据え、今大会ではフリーとの2冠を狙う。「(いつも通り)自分の走りができたら」と力を込めた。(川崎博之)

16分19秒4
▽女子3キロクラシカル ①金津
美和菜(旭東明) 10分31秒2 ②長

岡(喜茂別) 10分39秒6 ③三浦美
帆 10分41秒2